

# Tricolor

## フェスティバルご協賛について

日頃より本クラブの活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、来る 3/21(祝・木)しんよこフットボールパークにおいて恒例の「かながわフェスティバル」を開催いたします。

かながわクラブの全クラブ員が集う一年に一度のイベントである「かながわフェスティバル」の開催にあたり、協賛して下さる皆様を以下のとおり募集させていただきます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 【フェスティバル協賛金募集要項】

#### ■協賛金(個人又は企業)

1口 5,000円(1口以上)

#### ■広告掲載

プログラム表紙に氏名(企業名)を掲載いたします。

#### ■協賛金使途

会場使用料、記念品・賞品等に充当します。

#### ■申込方法

メール又はお電話・FAXにて、事務局の豊田まで次のことをご連絡のうえ、下記の口座に所定の金額をお振込みください。①氏名(企業名) ②連絡先 ③協賛金額④バナー表示名(指定のバナー画像がある場合は画像ファイルもお願いいたします。)

#### ■振込口座

横浜銀行 妙蓮寺支店

普通口座 1233042

特定非営利活動法人かながわクラブ

#### ■クラブ事務局

E-mail: info@kanagawaclub.com

FAX: 045-633-4577

## 大会・公式戦結果

### 小5

#### 【旭区招待杯】

##### ■準々決勝

vs 鶴ヶ峰 SC 3-2○

##### ■準決勝

vs 六浦毎日 SS 0-4●

##### ■3位決定戦

vs 本町 SC 2-4●

### 小6

#### 【区少年選手権大会】

vs ライフネット SC 2-0○

vs 横浜朝鮮学校 0-4●

##### ■3位決定戦

vs EMSC 1-1(PK3-4)●

#### 【フットワーククラブジュニアカップ】

##### ■予選リーグ

vs FC 浜須賀 1-0○

vs 港 FC 1-1△

vs FC OFFSIDE 1-2●

##### ■準決勝

vs 山崎 SC 0-3●

##### ■3位決定戦

vs FC レガール 1-1(PK2-3)●

## JUNIOR YOUTH

#### 【県 U-15 リーグ】

vs FC ASAHI 1-3●

vs FC OFFSIDE 2-2△

## YOUTH

#### 【県クラブユース新人戦】

vs Y.S.C.C. 2-8●

## TOP

### 【県社会人選手権】

vs 六浦 FC 1-0○  
vs 品川 CC 横浜 0-1●

## PAPAS

### ☆OVER40

### 【市シニアリーグ順位決定戦】

vs 横浜 40 6-3○

## 今、グラウンドでは・・・

## TOP

### 【県社会人選手権】

TOP チームは入れ替え戦後休む間もなく、社会人選手権が始まりました。2月3日(日)1回戦では六浦FCに1-0で競り勝ち2回戦にコマを進めました。また、並行して行われていた市民大会は1月27日(日)にFuzzyとの準決勝が行われ7-1で勝利しました。

入れ替え戦があったため、日程的に詰まってしまい、市民大会決勝戦と社会人選手権2回戦の日程が重なってしまったため、2月10日(日)の市民大会はユースチーム中心で臨み、TOP チームは社会人選手権を戦うことになりました。

その社会人選手権2回戦では昨年度1部リーグ優勝の品川CCとの対戦になり、互角の試合展開をしましたが、終了間際に失点し0-1で敗戦となりました。2019年度を1部リーグで戦うにあたり、品川CCとの試合は負けたとはいえ、大きな収穫と今後の課題が見えたゲームでした。

4月からいよいよ1部リーグが始まり

ます。TOP チームは1部リーグで戦うべく準備をしており、練習でも選手たちのモチベーションの高さがうかがえます。開幕戦は4月7日(日)の予定です(場所、時間等は未定)。みなさま、ぜひTOP チームの試合を見に来てください。

### 【オフィシャルサイト TOP チームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam.html>

(中本 洋一)

## YOUTH

2月11日には県クラブユース新人戦の2回戦を行いました。結果は点差をつけられての敗戦となりました。インフルエンザや怪我等で万全な状態でなかったとはいえ、自分たちのミスや集中力の欠如から失点を重ねてしまいました。守備が安定せず、多くの時間を守備に費やすこととなり、得意な攻撃の形に持っていくことができず、非常に苦しい展開となりました。しかし、その中でもジュニアユース選手の素晴らしいゴールや、回数は少ないものの攻撃の良い形も見られ収穫もありました。

現高1・2メンバーのポテンシャルは高く、サッカーに取り組む姿勢は真剣で精神的にも内に秘めた闘志を感じることができます。しかし、皆どこか他人事で誰かがやれば自分もついでという雰囲気が高い、自分が中心となってやってやるんだという自覚が足りません。今後の奮起に期待して、こちらも色々しかけて奮起を促していきたいと思います。

4月から2019年度日本クラブユースサッカーU-18 選手権関東大会が

始まります。あと約1ヶ月ですが、新シーズンスタートに向けて、個人としてもチームとしても少しでもコンディションを上げて、良いスタートが切れるよう準備を進めてまいります。

(豊田 泰弘)

## JUNIOR YOUTH

### 【少しずつ】

2月から新シーズンの公式戦がスタートいたしました。2019年シーズンU15リーグ 1stステージです。新チームとなって最初の公式戦となりますが、2戦を終えて結果は1分1敗となっております。

プレーの内容としましては、出来ることが「少しずつ」増えてきていますが、プレーの精度をまだまだ上げていかなければなりません。

観ることが「少しずつ」増えてきましたが、状況判断のレベルアップをさらにしていかなければなりません。他にもいくつかありますがすべてにおいて「少しずつ」改善していくことを選手、スタッフ共々にこれからも努めてまいります。

受験を終えた中学3年生の選手たちが活動に復帰してきております。少々のブランクがありましたので中学3年生たちも「少しずつ」カラダを慣らしていただきたいと思います。彼らと過ごす残りの一ヶ月を私自身も楽しみたいと思っております。

少しずつ、少しずつ、と自分にも言い聞かせて今日までやってきましたが、かながわクラブに来て早いもので1年が経過しました。あっという間でしたね。2018年2月25日(日)、2018年シーズ

ン U15 リーグ初戦に合わせて慌ただしく合流したことを思い出しながら偶然にも 2019 年 2 月 25 日にこのトリコロール原稿を作成しております。

2 年目も変わらず「少しずつ」やらせていただきます。

今月も引き続きどうぞよろしく願いいたします。

(新田 友和)

## 小 6

2 月になり中学受験で休部していた選手たちが復帰して、元気に参加してくれています。最初は動きもコミュニケーションも、どこかぎこちなかった復帰組の選手たちでしたが、徐々に慣れてきて、小 6 全体としてはさらに活気あふれる活動ができております。

参加人数も増え楽しいのはいいですが、終始ふわふわとして締まりのない雰囲気のまま活動が終了してしまうこともありました。この学年での活動もいよいよあと 1 ヶ月となります。大きな大会もなくあとは卒業を待つのみという状態ではありますが、楽しみながらも最後まで向上心を持って一回一回の活動を大切に組み込んでいってほしいと思います。こちらも選手たちが最後まで少しでも多くのことを吸収し、できる限り成長してもらえるように取り組んでまいります。

今の仲間と一緒にサッカー出来るのもあと 1 ヶ月です。最後まで楽しく真剣に今の仲間とのサッカーを楽しんでいきましょう。

(豊田 泰弘)

## 小 5

### 【旭区招待杯】

2 月 10 日、16 日と 2 週に渡り行われました、旭区招待杯にお誘いいただき参加しました。結果は 12 チーム中 4 位入賞で大会を終えました。2 日間とも、お休み以外の選手ほぼ全員が参加し、出場時間が少なかった選手も含めて期待以上のプレーを見せてくれました。

### 【いまトライしていること】

5 年生が練習、試合で ①自分のエリアを守ること ②相手からボールを奪うことができる場所にいること ③グラウンドを広く深く見て、スペースにボールを運びながら相手ゴールを目指すこと、をチーム全員が高いレベルでプレーできることを目指しています。

① 8 人のうちの 1 人として自分の任せられたポジションの攻撃と守備の役割を理解し、責任を持ってプレーしてもらうことをねらいとします。これが無いと「お団子サッカー」になります。

② ボールを見ながら自分のエリアにいる相手にボールが渡ることを予測し、相手よりも先にボールを持つための準備です。相手と適切な距離をとれることが必要になります。

③ 自分もしくは味方選手がボールを持ったら目指すのは相手のゴールです。ドリブルでゴールに突き進む、味方を見つけてパスをする、相手がいないスペースでパスを受ける、色々な選択肢をもち、スペースを突くあるいはスペースをつくるといった相手との駆け引き、仲間と協力しながらゴールを奪うことに繋がります。

これらは 6 年生、その先もサッカー

をプレーし、理解するために必要なことと考えています。選手たちは、日に日に遅しく、時に衝突し悩み、壁を乗り越えようと難しいことにトライしています。

今後とも、選手のサポートをよろしく願いいたします。

(嘉手納 大輝)

## 小 4

今年度も残すところあと 1 ヶ月になりました。今年度 1 年間、保護者の皆様、子ども達に様々なご迷惑をかけたきましたが温かく見守っていただきありがとうございました。

子ども達には、とにかくサッカー楽しんでほしい一心で指導を行ってきました。その結果が出ているかどうかはわかりませんが、自分は子ども達に 100%の愛情を持って接しています。

4 年生とはいえ、一生懸命ボールを追っている姿やドロドロになりながらもサッカーを楽しんでいる子ども達を見ると、かわいいなと思うと同時に、自分にもこんな時期があったんだなと昔を思い出します。

少し長くなりますが、自分がサッカーを始めた頃の事をお話します。

サッカーを始めたのは、幼稚園のときに週一回ほど行われるサッカー教室にいったのがきっかけです。幼稚園ながら、5 号球を蹴って遊んでいたのを今でも覚えています。

小学生に上がり、近くの少年サッカーチームに入り指導を受けました。昔から体が大きく、すぐにキーパーにさせられ、あまりサッカーが好きではありませんでした。

自分の記憶では、本当にサッカーが好きになったのは小学3年生のときです。キックの練習で、バー当てをさせられていたとき、今までいくら蹴っても飛ばなかったボールが、たまたまいいキックができて、軽く蹴ったのにも関わらずボールがゴールを超えました。もう一度今のキックをしたいと思いい何度か何度か蹴って、軸足の場所、ボールの当てる位置、助走の幅など、自分なりに試行錯誤しながら、キックの練習をひたすら続けました。その頃から、自分で思うようにボールを蹴れるようになり、サッカーを好きになって今に至ります。

子どもたちにも成功体験を通し、やっぱりサッカーって楽しいと思ってもらえるようにいろんなプレーに挑戦してもらいたいです。キックだけではなく、ドリブルや、ディフェンス、トラップなど何でもいから、何か一つ自分が自信を持ってプレーできるようになってほしいと思います。

好きこそ物の上手なれということわざもありますが、好きでやっている方が上手になれると思っています。いつまでもサッカーを好きでいてください。

(菊地 健志郎)

### 小3

#### 【刺激を与える】

指導者の仕事の一つに刺激を与えることがあります。学校の先生なら子どもの知的好奇心をくすぐる努力であったり、習い事の先生であれば子どもが上達する実感を味わえる工夫であったり…。そうした努力や工

夫が実は指導者としての手腕と言えるのかもしれませんが。某CMのように子どものやる気スイッチを押してやるのです。

サッカーの指導者であれば、まずは、子どもたちをサッカー好きにさせるということを目指します。サッカーが嫌いになっては上達するまでも無くサッカーから離れて行ってしまいます。親の過度の期待や異常なプレッシャーに押しつぶされサッカーから遠ざかってしまったという悲劇はなくしたいものです。サッカーをさせたいと願うのであれば、サッカーが好きになるような働きかけを保護者の皆様にはお願いしたいところです。

次に、指導者としては、子どもの上手になりたいという向上心を芽生えさせたり、試合に出たいという強い欲求を抱かせたりすることで、個々の技術の向上、サッカーの上達を実現することになります。普段の活動の中で、子どもたちのモチベーションを刺激するべく、小まめに子どもたち全員への声掛けを心がけているのもそのためです。指導者によっては、活動前に選手全員と握手をするというスキンシップで、選手の心身の状態を把握していることもあるようです。

#### 【メンバーの入れ替え】

こうした刺激の一つにメンバーの入れ替えがあります。所謂Aチームのメンバーを入れ替えることで、新たに選ばれたメンバーは努力することが報われたという実感を抱き、引き続き努力を継続できますし、もれたメンバーは自己のプレーを反省、分析し、足りない部分を補う努力を始めることになる

のです。まずはメンバーに選ばれること、そして、メンバーに選ばれたらメンバーからもれないように努力することが子どもたちには求められるのです。

公式戦以外の交流試合の中でも、先発か控えかという面では、あまりメンバーを固定せずに、様々な組み合わせを試行錯誤しながら、最善の組み合わせを模索することになります。手の内を明かすようですが、これも刺激の一つと言えるでしょう。選抜チームを編成すること、試合の先発メンバーに名を連ねることが子どもたちのモチベーションに直結するのです。

#### 【関心を示す】

子どもに声を掛けることには、「あなたの努力を私は見ていますよ」というメッセージを込めます。平日に家で人知れず、ボールコントロールやフェイントの練習をしていることは、日曜日の活動の様子を見れば一目瞭然です。また、朝から半日余りをグラウンドでボールを追いかけている子どもたちの技術は目覚ましく向上していきます。そうした子どもたちをきちんと認めていきたいと考えます。努力は嘘をつきませんし、上達の実感が持てれば、サッカーへの意欲は継続します。関心を持つということは、努力する姿を見て評価することではなく、努力する姿そのものを認めることです。よその子と比較することは絶対にご法度です。

人間にとって、最も悲しく、辛いことは人に無視されることだと言われます。大人の無関心は、子どもの意欲的に物事に取り組むやる気を削ぎます。見ていないようで、しっかりと見ている

という姿勢が大切です。思いがけない誉め言葉が心に強く響くのは必然ですから。

### 【親も指導者！？】

別に保護者の皆様にサッカーの指導をお願いするものではありません。親として、子どもとの関わりの中で、指導者の姿勢に通ずるものがあるように思います。それが今回の刺激を与えることであったり、関心を示すことであったりするのです。

相手の考え方や行動を変えることは、相手が子どもであっても至難の業です。では、どうするか？という、こちらの考え方や行動を変えるしかないのです。子どもへのアプローチの仕方に努力と工夫を加え、子どもが目標に向けて努力を始めるような刺激を与えること、子どもが意欲的に取り組むように関心を示すことが親や指導者には求められているということです。

「親」という字には、木の陰に立って子どもを見つめている姿が表されています。ただ、見守るだけでなく、無言の刺激(メッセージ)を発し続けていけば、いつか子どもにも通じるものなのです。親(保護者)というのは、そういうものなのでしょう。

### 【差がなくなりつつある】

子どもたちに関心を示しつつ、刺激を与え続けた結果…という手前味噌に聞こえそうですが、子どもたち個々の実力の差が縮まりつつあるように感じています。毎回の活動の最後に行うゲームでは、Aチームのメンバーを中心に2チーム、他のメンバーで2チームを作っています。しかし、対

戦してみると、Aチーム中心のメンバーで臨むチームが苦戦をしたり、負けたりすることもあります。「Aには負けられない！」という気持ちの部分が大きく影響していることもあるかもしれませんが、技術的にも確実に追いついてきている印象です。こうした下からの突き上げにより、チーム全体の力が向上することは間違いありません。今後の子どもたちの成長が更に楽しみになってきました。

(佐藤 敏明)

### 小2

2月は練習試合やルーキーリーグがあり、多く対外試合をすることができた月でした。

試合をするのはいいのですが、試合に対する姿勢であったり、緊張感がまだ足りないと感じる場面が多かったです。友達と会いに遊びに来てくる感覚もあってもいいと思いますが、アップから入り試合をするまでの準備のときの切り替えと、サッカーをする集中力ができている子とできていない子います。今一度子ども達には、切り替えの大切さと、メリハリをつけた取り組みについて、根気よく伝えていこうと思っています。

練習試合をするなかで、比較的攻撃については良い形ができてきているのですが、守りであったり、ボールを奪うところがあまりできていない部分がありましたので、その後の練習では対人を取り入れたトレーニングを行っていきましました。その中でバリエーションを入れドリブル、バウンド処理、キープなどいくつかの要素を加えながら少しずつ難易度を上げてやっています。練習から一生

懸命に取り組んでいただき、少しずつサッカーにおいて大切なことを身に付けていてもらいたいと思います。

(栗城 聖也)

### 幼児・小1

2月11日の「大人のためのフットサル」では、予選リーグを全勝して、見事！決勝戦に駒を進めました。残念ながら、けが人が出てしまい、また、決勝戦の雰囲気飲まれてしまったか？優勝を逃してしまいましたが、大会の趣旨である「親同士の交流を図る」ことができました。

早朝より、また寒い中、ご参加いただいたお父さん・お母さん、そして熱い応援をしてくれた子どもたちに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。これを機会に、パパスへの体験や、他学年の子供たちやお父さんたちと一緒にボールを蹴りにくる機会が増えてくれればいいなあと思います。

2月17日には、初の遠征試合を行い4勝2分の戦いをすることが出来ました。コーチの引率のもと、チームの仲間たちと電車で移動し、駅構内や道路といった公共の場所で行動を共にすることは、ご家族で行動する時とは違った緊張感があり、自分のことは自分でやる、という自立心を養う上で貴重な経験となります。

拘束時間、試合数の関係で、残念ながら全員参加とはしませんでした。3月中には全員参加のTRMを組みたいと思っています。

前号でお伝えしましたが、子供たちに2月中の宿題を出しています。ポー

ルを落とさず足(インステップ以外でも OK です)や腿でボールを蹴る=リフティングを 10 回以上出来るようにすることです。

トレーニングの始まりにリフティングの時間を設けていますが、まだまだ思うようにボールを扱うことができていません。リズムよくボールをリフティングするには、常に同じポイントでボールに触れるという、ボールタッチの感触を持たなければなりません。子供たちには、平日にもボールに触れてもらい、少しずつ構いませんので目標に向けて頑張ってもらっています。

3 月の活動で一人ひとりの練習の成果を見させてもらいます。出来るようになった子には更なる目標設定を、目標に達しなかった子には、修正点をしっかりと伝え、粘り強く挑戦する気持ちをさらに持ち続けてトライして欲しいと願っています。

(浜野 正男)

## PAPAS

### 【PAPAS OVER50&40 メンバー募集】

PAPAS から横浜市サッカー協会シニア委員会が主催するシニアマスターズ大会と交歓試合に、参加しているのが、OVER50とOVER40の2チームです。

例年の年間試合数は、REC&COMP がリーグ戦で概ね 11 試合に対して、OVER50&OVER40 は、マスターズ大会が 4~5 試合、交歓試合 2~3 試合です。試合数は少ないですが、試合会場は日産フィールド小机、三ツ沢陸上競技場、玄海田公園、谷本公園など、近隣の天然芝、

人工芝の素晴らしいグラウンドで楽しい壮年の試合が展開されています。

そこで下記の要領で新年度の OVER50&40 メンバーを募集します。新年度中に 40 歳あるいは 50 歳の誕生日を迎える方も対象になります。還暦過ぎの方も、50 歳以上の方も、40 歳以上に今年なる皆さんも、奮ってご参加を！

かながわクラブ以外のチームから県シニアリーグの四十雀、五十雀に登録している方も、あるいは他の市協会チーム登録者も参加できます。ただし、登録は 2 チームまでと新年度から厳守との指示が来ていますので、かながわクラブ以外で新年度登録される予定の方は、その旨、申し出てください。

新年度登録の締め切りは例年より 1 月早い 3 月 17 日(日)としますので、関心のある方は急いで茅野までご連絡ください。

### ■OVER50 募集要項

・REC&COMP の 50 歳以上のメンバーは、追加負担なしで全員 OVER50 に登録する。

・REC&COMP 以外の PAPAS メンバーから事務登録手数料年間 4,000 円でメンバーを募集する。

### ■OVER40 募集要項

・REC&COMP の 40 歳以上のメンバーは、追加負担なしで全員 OVER50&40 に登録する。但し、試合出場機会の均衡を図るため、OVER40 に登録した 50 歳以上のメンバーは、OVER40 がメンバー不足を生じない限り、試合出場を認めない(50 歳以上の方は、スーパーサブとし

て登録のみを行うということです。昨年度も数回、OVER50 の応援を依頼しました。)

・REC&COMP 以外の PAPAS メンバーから事務登録手数料年間 4,000 円でメンバーを募集する。

・REC&COMP の県リーグ戦試合日程との重複調整は、市協会は兄弟チーム(REC&COMP のこと)の上位のチームとの調整しかしないので、Comp と重複した場合は市協会に調整を依頼するが、REC と重複した場合は、日程調整が行われないので、COMP 主体の OVER40 チームで参加する。

(茅野 英一)

## ヨーガ

### 【ゆる部活】

県立厚木北高校でのヨガ同好会に、スポーツ庁長官の鈴木大地氏の視察があったのは、昨年の 10 月でした。取材も入り朝日新聞と教育新聞に記事が載りました。その後、スポーツ庁のホームページに詳しい内容が掲載されています。注目の内容は「ゆる部活」です。

今までの「運動系部活動」というと平日は毎日練習があり、土曜日、日曜日には試合が入り・・・という感じととにかく毎日が部活漬け。他にはなにもできないようなスケジュールになってしまうというのが一般的でした。そのペースにうまく乗って楽しんでスポーツができる生徒は良いのですが、疲れきってしまいついていけない生徒がいるのも事実です。そこで新しいスタイルの部活動「ゆる部活」が注目されているというわけです。活動は週に

1回～月に1回。部活以外にも自分のための時間をもつことができ、学生生活をいろいろな面から楽しむことができるのが「ゆる部活」の魅力です。

この発想は素晴らしく誰に話しても賛成していただけます。「もっとたくさん学校で導入されるように頑張ってください」とも言っていたのですが、これがなかなか難しい。越えなければいけないハードルが多く立ちふさがっているのが現状です。それでも

「なんとかヨガを学校教育の場にも導入していきたい。」という指導者である私の気持ちと、多忙な現場におられるにもかかわらず「協力しよう。」と思っていた先生方の双方の想いで、やっと継続できているのが現在の厚木北高校ヨガ同好会なのです。

今年になって、新たに読売新聞、日本経済新聞の記事として取り上げていただいています。この追い風を生かして、なんとか「ゆる部活」を継続し定着できるようにしたい。そして初期の「ゆる部活」の成功例として、他校での取り組みを行う際の道しるべとなれるようにと願いつつ活動しています。

(伊藤 玲子)

**伊藤玲子先生のCD新発売！  
聴く！グナヨーガ**

聴く！  
**グナヨーガ**  
チェア

収録時間：52分  
ボース写真入りブックレット  
8ページ

聴く！  
**グナヨーガ**  
フロア

収録時間：69分  
ボース写真入りブックレット  
12ページ

**★お買い求め方法**  
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。  
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1  
 ※地下鉄片倉駅前のARビル1階  
 TEL:045-482-2216  
 飯田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9  
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、  
 徒歩5分  
 TEL:045-321-3653  
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。  
<http://www.gunayoga.com>  
 ③アマゾン(amazon)からご購入いただけます。  
 ④アイチューン(iTunes)からご購入いただけます。

**各1575円(税込)販売中**



日本テレビに出演



**YOKOHAMA  
ANDO  
SPORTS**

アンドウスポーツ

## 内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号